

# 保護者・学生のためのより詳しい説明

実際の入試問題を使って、この講座の効果をご説明します

5/10

## 論述ブースト No.13

### 終末期医療・緩和ケアを論じる —— QOL・本人の意思・家族支援を3軸で整理

★ 清光学院の講師は、大学教員としてこれまでに皆さんのお子さんと同じ志を持った先輩受験生たちの答案を何十年も採点し合否判定を行ってきた当事者です。終末期医療の小論文で「患者さんに寄り添うことが大切です」という一言で終わる答案と、QOL・本人の意思・家族支援の3軸で構造的に論証した答案の評価の差を、審査側として繰り返し経験してきた。

#### 1. この講座が有効な入試問題のタイプ

##### ① 終末期医療・緩和ケアの小論文

東京大学・慶應義塾大学医学部・京都府立医科大学の推薦入試では、「がん末期の患者に対する緩和ケアの意義を論じよ」「延命治療の是非を論じよ」という小論文が出題される。QOL・本人の意思・家族支援という3軸で論証できる受験生は採点者（大学教員）に際立つ。

##### ② 緩和ケアの倫理的問題（鎮痛・告知）

「強い鎮痛薬で意識が低下することは倫理的に許されるか」という問いは、医学部推薦入試で出題される。QOLと本人の意思という軸で論証できる受験生は感想論述との差が歴然とする。

##### ③ 面接での「終末期医療への向き合い方」

医学部面接で定番のテーマである。3軸で即座に論じられる受験生は試験官（大学教員）に「終末期医療を深く考えている」と評価される。

#### 2. 具体的な大学・学部との対応

大学・学部	出題の傾向	本講座との対応
東京大学・慶應義塾大学 医学部	終末期医療・緩和ケアの小論文	QOL・本人の意思・家族支援の3軸が感想論述との差を生む
京都府立医科大学・奈良県立医科大学	緩和ケアの倫理・論述問題	3軸の論証枠が採点者（大学教員）に際立つ答案を生む
昭和大学・東邦大学 医学部	終末期医療の倫理的問題	鎮痛・告知の倫理をQOLと本人の意思で論じられる
医学部推薦・総合型選抜（全般）	「終末期医療への向き合い方」型の口頭試問	3軸で即答できる受験生として採点者に印象を残す

#### 3. なぜ差がつくのか・受講後に期待できる変化

終末期医療の論述を「寄り添うことが大切です」という一言で書く受験生は、採点者が求める「構造的な論証力」を示せない。授業の詳細な内容はここでは述べないが、受講後には（1）QOL・本人の意思・家族支援の3軸で論証できる、（2）緩和ケアの倫理的問題（鎮痛・告知）を論じられる、（3）面接で3軸を使った即答ができる、という変化が起きる。

何十年も医学部の小論文・面接を審査してきた清光学院の講師陣は、終末期医療論述で「一言の感想答案」と「3軸で構造的に論証した答案」の評価の差を採点者として知っている。